

開会 令和5年7月27日

閉会 令和5年7月27日

# 足利市教育委員会定例会

足利市教育委員会

## 令和5年第9回足利市教育委員会定例会会議録

足利市教育委員会 教育長 須藤 秀幸は、令和5年7月27日、令和5年第9回足利市教育委員会定例会を足利市役所に招集した。

- 1 出席委員は、次のとおりである。(5名)

教育長

須藤 秀幸
-------

教育委員

笠原 健一	木村 知巳
松村 由紀	野口 直美

- 1 会議事件の説明に出席したのは、次のとおりである。

教育次長	田口 勝將	教育総務課長	石井 邦弘
生涯学習課長	齋藤 由美	市立図書館長	櫛田 弘樹
学校給食課長	清水 信博	文化課長	松葉 範幸
市立美術館長	片柳 孝夫	史跡足利学校所長	塩島 啓嗣
学校教育課長	岡部 陽一	総括主幹	中村 等

- 1 本委員会の書記は、次のとおりである。

戸叶 智尚
-------

- 1 傍聴者 なし

本日の会議日程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 報告事項について  
(教育総務課、文化課)

日程第3 議案第17号  
令和5年度足利市民文化賞候補者について

日程第4 議案第18号  
令和6年度使用教科用図書の採択について

開 会 午後1時30分

## 須藤教育長

ただいまから、第9回足利市教育委員会定例会を開会いたします。

## 日程第1 会議録署名委員の指名について

木村委員 野口委員

以上のとおり、指名することについて異議なく了承される。

## 須藤教育長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい案件があります。

日程第3 議案第17号 令和5年度足利市民文化賞候補者については、教育委員会の意見として、市長に送付する意思形成過程の案件です。

日程第4 議案第18号 令和6年度使用教科用図書採択については、栃木県教育委員会に報告する前の案件です。よって、この2件は、非公開として行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしとの発言あり)

以上のとおり、非公開で行うことについて、異議なく了承される。

## 日程第2 報告事項について

日程第2「報告事項について」を議題とします。説明は簡潔明瞭にお願いいたします。

【令和4年度 公益財団法人足利市みどりと文化・スポーツ財団事業報告について 資料No.1】

(石井教育総務課長が説明)

木村教育委員

2点質問があります。まず7ページですが、前年に比べて3名の増員があったと思われます。年齢や性別など内訳がわかれば教えていただきたいと思います。もう1点は24ページです。撮影支援事業の表の中で、相談件数と撮影実績の記載がありますが、この数字については例年に比べてどのようなか。率として増えたのか、減ったのかというところを教えていただきたい。

### 石井教育総務課長

1点目の職員配置、3名の増員分については、男女の別と年齢の内訳につきましては、手元に資料がないため、確認して報告いたします。次に、24ページの撮影支援事業につきましては、MBS財団としての事業が始まったのは令和4年度からでありまして、MBS財団として前年と比べるデータがなかったのではないかと思われます。前年度は市の担当部門で担っていたため、この数字につきましても確認して報告いたします。

### 木村教育委員

ありがとうございます。まず、1点目の人数に関しましては、昨年もお話ししたかもしれませんが、50歳以下の方がかなり少ないと思っておりますので、今後の業務への影響や問題というのが、あと10年後にかなり大きく出てくるのではないかと考えております。この辺のことについて、この増員で大丈夫なのだろうかという確認の意味でお聞きしました。新規採用した方々の男女構成や、若い方が入られたのか、即戦力のような方が入られたのか、興味深かったためお聞きしました。2点目は、撮影支援のことについてですが、以前は市内で撮影している現場をよく目にしたと思っております。最近では、あまり見かけることがないと感じています。仕事の都合上、各地からお客様をお迎えしますが、足利の説明をする際に、ドラマの話であったり、撮影の話をする、このまちに対して好意を持っていただいたり、話のきっかけになったりすることがあります。また、私の子供もそうですが、そうした撮影現場が身近にあることで、子供の興味関心が沸くと思っております。そうした意味で、自分の暮らすまちがテレビやドラマに出てくるのが、子供の郷土愛を育む一助になっていると思っております。そういった映像コンテンツについて、今まで足利には太いパイプがあったにもかかわらず、これが減っていくというのは非常にもったいないなというふうに思っております。こうしたパイプというのは、後になって広げようと思っても、広がらないものであると思っておりますので、最近では聖地巡礼というものもありますから、観光も含め、教育も含め、非常に重要なものではないかと思っております。撮影支援に関する記載の中で、相談件数がこんなにあるのに、実施件数が少ないというのは、足利市として非常にもったい

ないのかなというふうに思いましたので、確認をしました。

#### 石井教育総務課長

ありがとうございます。1つ目のMBS財団の年齢構成についてですが、こちらに表記してありますのは令和3年度と令和4年度末の年齢構成です。今後の存続を踏まえた年齢構成につきまして、委員ご心配の点に対応するべく、昨年度中の新規採用は、受験資格を59歳までと幅をもたせ、若い方から幅広い年齢の方を採用しました。令和4年度との違いのほかに、今年度採用の状況につきましては改めて報告をさせていただきたいと思います。

#### 野口教育委員

私も2点ほど質問があります。1つは数値目標のことで、16ページの(2)の地区公園・近隣公園等指定管理事業のイの表の中で、目標値と実績の記載がありますが、利用者数は大きな差異がないものの、収入については人数に比べて大きな差があるのは何が原因なのでしょうか。

#### 石井教育総務課長

内訳につきましては後日確認をさせていただきたいと思います。

#### 野口教育委員

ありがとうございます。もう1点は、令和5年3月末で60歳の方が8人いらっしゃるということが非常に気になりました。令和5年3月31日の時点でかなりの額の退職金を支払われていると思います。前年度に何人退職されたのかは存じ上げないのですが、今年はさらに多い退職金をお支払いすることになるのかと思ったものですから、お聞きします。

#### 石井教育総務課長

ご心配をいただくところであると思います。まず、年齢構成についてですが、8ページのグラフをご覧ください。60歳が8名おります。これは令和5年の3月31日に8名おりまして、こちらの方々は既に退職して、退職金が支払われております。前年度の退職者ですが、前年度も8名の定年退職者がおりました。MBS財団の年齢構成は、少し遡りますとある一定の時期に同年代の方々を多く採用した時期がありまして、この2か年でそのベテランの職員の方々がちょうど退職したということになります。そうしますと、年齢構成的には9ページの今年の表の60歳を引いた残りの方々に、先ほど申し上げました新規採用の広いバランスをとった年齢の方が採用されて加わった状況になっております

ので、年齢構成はバランスをとるようにしております。一方で、経験年数という意味では、9ページの(5)のところで平均勤続年数が出ておりますが、確かに少しこちらのほうは短くなるような傾向になっております。退職金につきましては支払いが済んでおりまして、来年以降につきましては心配のほうが増えているような状態になっております。

## 笠原教育委員

私はMBS財団の評議員という立場から、報告のほうは受けておりまして、記憶で申し上げるので、不確かな部分については申し訳ありませんが確認してください。MBS財団は一時採用を控えていたため、ここ数年多数の退職者が続いております。おそらく今年度がその最後の年になり、そういう意味では退職金の心配をする必要がなくなってきたのと、もう1点、その懸念があったものですから、市とMBS財団との間で指定管理料にその分を加算してきました。それも済んだことにより、形式上退職金問題はほぼ解消しています。ただ、今度はその分採用をあまりしていなかったため、新しい職員が増えない、あるいは技術が育たないということがあるので、嘱託職員という形で退職した方々の雇用を継続して、技術面は少しでも先送りしながら、正規職員の募集をかけることにより、なんとかうまくのりしろ部分をくつつけているということをやっているというのが現状だと思います。ですから、かねて退職金問題が唯一の問題でしたけれども、今は、職員構成や、技術の伝承、特に植栽とか剪定は簡単にできることではありませんので、そういうことも含めて一つの課題かと思えます。ここからは、私のお願いの部分であります。私はMBS財団の一番の問題は、人の問題ではなくて、やはり、足利市において、あるいは足利市民において、MBS財団の活動が伝わっていないことが一番の問題だと思っています。N響、佐渡裕氏、反田恭平氏、地方都市でこれだけの方々に来ていただけたところはないです。何周年記念事業など、一発勝負で、スポットで呼ぶということはまああることかもしれませんが、通年、当たり前のように演奏会やコンサートが開催できるという地方都市は足利のほかにはないのです。ところが、一つ箱の問題がある。今の市民プラザは、大きな会場とするとそこしかないの、いろいろなものが合わせて開催されていて、まず日程が取れない。それから残念ながら収容人数や設備のことで色々な問題があります。もう1つ問題なのは、N響、佐渡裕氏、反田恭平氏だけでなく、実は市民会館専属プロフェッショナル芸術団体です。これは、もともと文化庁の助成を受けながら始まったことですが、実は今年度の予算に文化庁の予算がつかないわけですね。文化庁予算がつかずして、どうやって公演を維持するか、あるいはチケット代を抑えていくかということが、いよいよこれからMBS財団が頑張らなければ

いけないことですがけれども、その前に本来ならば、文化庁助成がついている間に、こんな素晴らしいことをやっているということを足利市民に伝わっていなかったということが一番の問題だと、私はMBS財団に言っているわけです。地方都市で3プロがあるなんていうことは奇跡的なことです。特に大隅智佳子さん、この方は全日本クラスの方で、その方が音楽監督をやってくださって、足利でオペラの教室をやっているということは本当に奇跡に近いと思っています。もちろん、申し上げたように、ミュージカルやオーケストラもそうだと思います。そんなことが地方都市でできているのに、足利市民がその恩恵を感じないとか、その魅力を感じていないとか、足利市民に伝えようとする私たち委員会の力も少し弱いのかもしれない。MBS財団も弱いのかもしれない、教育委員会も弱いのかもしれない。このままいくと、文化庁助成がなくなってしまった今、これ自体の存続が怪しいかなという心配もしなければいけない。何とか、来年度以降、MBS財団として文化庁の助成が復活するように努力をしていただくにしろ、もともと文化庁助成というのはずっと続くのではなくて、何年かで切れることが大前提であったはずですが、それで当たり前のように、今年そうなったのかと思うのですが、復活できるなら復活できるようにしていただきたいと思いますが、一番大事なものは、それほど素晴らしいものが足利市にあって、我々足利はそれを存続させないと、足利市民が損するんだ、もったいないんだという意識を植え付けられなかったということが、私は一番問題だと、MBS財団に言っているのです。ぜひとも、教育委員会でも必要について検討していただきたい。必要について議論すらされていない。これは議論をするための火付け役を誰かがやらなければならない。MBS財団はやらなければいけないし、教育委員会はやらなければいけない。その結果やらないとなれば結構なのです。ただ、知りもせず、いいのか悪いのかもわからずというのは、本当にもったいない話で、なんとか3プロと、N響、反田恭平氏、佐渡裕氏、足利で継続して公演ができるようにあってほしいと思っています。私はMBS財団の最大の問題はそれだというふうにMBS財団には言っています。以上です。

#### 石井教育総務課長

ご意見ありがとうございます。足利市民にMBS財団の活動を周知すること、活動内容についての議論が必要だということにつきまして、教育委員会、MBS財団が、モニタリングなどを通じて議論をしていく必要があると考えております。

#### 須藤教育長

今後も、MBS財団と相談しながら対応をお願いします。これは私見になりますが、今回、財団の内容について、笠原教育委員からご意見をいただいたわけですが、他の様々な教育委員会所管の事業もありますので、そういったところについても同じような視点で見直しや議論をしていく必要もあろうかと思えますので、その旨もお願いできればと思います。よろしくをお願いします。

#### **野口教育委員**

最近、じゃぶじゃぶ池に行っていないので、様子を教えていただきたい。じゃぶじゃぶ池には、出店のようなものは出ているのでしょうか。

#### **石井教育総務課長**

私もこの近年の状況は存じ上げないのですが、じゃぶじゃぶ池の他にウォーターパークがあります。じゃぶじゃぶ池のところには何もなかったと思います。ウォーターパークのほうには、記憶の範囲では、かつてグリーンプラザの建物の脇にお店があり、食べ物や飲み物が販売される場所があったと思います。

#### **野口教育委員**

この施設は利用金額が大変安価で、この地域の中でも、この設定料金が安価なほうだと思っています。その魅力をもう少し活かすには、大きな滑り台があるわけでない、何かあるわけでないので、お金をかけなくてもできるような事業、例えばバーベキュー会場とかキャンプ会場とか、何か、ウォーターパークやじゃぶじゃぶ池と連動させることで、プールだけじゃなくてこんな施設もあるから、大人も数時間楽しめるから行こうかとなるような、何か別の相乗効果、予算内でできる何かを計画いただけると、じゃぶじゃぶ池やウォーターパークの利用がもっと増えるのではないかと思います。値段も安く、とても良い施設と思っているので、さらにそれが活きるような何かを計画いただけると嬉しいと思います。

#### **石井教育総務課長**

ありがとうございます。施設の設置場所の特性上、固定的な構造物ができないため、移動を前提としたものがよろしいかと思いますが、委員からの貴重なご意見につきましては、MBS財団に繋いでまいります。

#### **松村教育委員**

スポーツ事業についてですが、25ページのスポーツレクリエーション事業の

中の15番、全足利選手と遊ぼう！&練習観戦とあります。その対象に、養護学校生と高校野球部員とあります。まず、養護学校というのは現在使われていないので、ここは訂正をお願いします。特別支援学校だと思います。高校の野球部員というのはかなり上手な方々だと思いますが、特別支援学校の生徒と遊んだり観戦したりということについて、どのようなイベントであったのか内容を教えていただきたい。この質問の背景としては、令和4年度に国体がありまして、開催された事業についても名前の付け方を工夫するなどして、たくさんの方々素晴らしい事業が設定されていました。参加者も多かったと感じています。そうした中で、パラリンピックや障がい者スポーツについても、是非関連する事業を意識して増やしていただけたら、参加者も増えて楽しいと思います。私は、助戸公民館の青空青年学級でボッチャを教えていただいて、初めてやったのですが、すごく楽しくて、車いすの方でも参加できたり、もっといろいろな大会に参加して、県大会や全国大会も行きたいなんていうことを言っていた青年もおりまして、そういう機会がたくさん増えるように、是非これから増やしていただけたらありがたいと思います。コロナ禍で引きこもってしまった青年が、ボッチャ大会に久しぶりに出てきて、心が晴れ晴れしたと感想を話していたのを聞きました。是非お考えいただきたいというのが趣旨で、最初の質問については、後で教えていただければ大丈夫です。

#### 八代市民スポーツ課長

ありがとうございます。最初のご質問につきましては、おそらく、市内の高校の選抜チームを今年作りまして、そのチームと全足利クラブの選手が対戦をして、そこに小学生などを観戦に招いたという事業でありました。もう1つの障がい者スポーツにつきましては、市民スポーツ課としてもこれから力を入れていかなければならない分野と考えております。指導者や場所など様々な課題もありまして、栃木県のスポーツ振興課とも連携しながら普及についても務めてまいりたいと考えております。

### 【令和4年度 公益財団法人足利市民文化財団事業報告について 資料No.2】

(松葉文化課長が説明)

#### 野口教育委員

15ページの2の(2)特定資産のうちの特別事業基金有価証券(商工中金)の2億円が、今度の刀剣の購入資金になるというご予定でよろしいのでしょうか

か。

### 松葉文化課長

ありがとうございます。23ページをご覧ください。財産目録のうち、特定資産（特別事業基金）というのがございまして、こちらのほうに、定期預金、足利市農業協同組合本所、199,298,000という数字と、定期預金、足利銀行足利支店、3,936,000とありまして、この中の702,000円を足しますと、ちょうどいい数字になります。こちらを今回の購入に充てるということで想定しております。

### 笠原教育委員

先般の山姥切国広の購入に際しての記者会見では、文化課さんのほうで色々事前の準備をしてくださいました。当日の準備を含め、記者会見、報道発表に至るまでの間、当然に公にできる時期ではなかったため、ご配慮をいただきながら無事に市民文化財団理事会、評議員会を開催してまいりました。こうした一大事業が水面下で着々と進んで、ようやく市内外に発表できましたことに、本当に感謝申し上げます。これからも大変なこともあろうかと思えますし、意外と足利市の魅力を足利市民が知っていないという現実もあつたりしますので、是非、足利っていいまちだな、最後は足利っていいまちだとみんなが思うことだと思ふ、あるいは、足利に行ってみたい、足利に住んでみたいと周りの人が思うことだと思っています。その一環だという位置づけだとすると、まだまだこれからやらなければならないことがたくさんあるのだと思うのですが、是非今後とも引き続きよろしく願いいたします。何よりも本当にどうもありがとうございました。

### 松葉文化課長

ありがとうございます。先週7月21日に記者会見、合同記者会見ということで市民文化財団の代表理事でもある笠原教育委員には大変お世話になりました。想定以上にマスコミ、報道機関が来ておりまして、初めは代表理事と私のほうで、何か質問があつた場合にはアイコンタクトをとる予定でしたが、三脚と人の山がありまして、なかなかこれまでに無い数のマスコミが入つたこともありまして、ちょっとびっくりしてしまつたところです。これから、実際に購入の手続きが始まります。入手しましたら、本市の歴史をつなげていくという意味で、市民の郷土愛、誇りを醸成するという意味でも、活用していければということで、市と協働して頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

### 片柳市立美術館長

ご縁をいただきまして、6年前から山姥切国広の所有者様と交渉を重ねました。お互いの信頼関係が構築され、さらに深い信頼を得て、今回こうした運びとなりました。市立美術館、市民文化財団ともに、文化財の保護、振興、そして何よりも、教育に活かした資料の活用ということを目指しておりますので、今後予定する山姥切国広展、笠原教育委員の思いを反映できるような展覧会にしていきたいと思います。どうもありがとうございます。

### 須藤教育長

この件につきましては、関係する皆様のご協力があつて、この日を迎えたと思っております。本当にありがとうございます。それでは、質疑も尽きたようですので、以上のことについては報告として承りたいと思います。

ここからは、先の決定のとおり、会議を非公開で進めます。

### 日程第3 議案第17号 令和5年度足利市民文化賞候補者について

(非公開)

### 須藤教育長

議案第17号については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発言あり)

ご異議ないものと認め、原案のとおり決定いたします。

暫時休憩	午後2時30分
再開	午後2時55分

### 日程第4 議案第18号 令和6年度使用教科用図書の採択について

(非公開)

須藤教育長

議案第18号については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との発言あり)

ご異議ないものと認め、原案のとおり決定いたします。

須藤教育長

それでは、これを持ちまして、第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉 会 午後4時28分

...